

クラークを活用して レセプト点検のフローを 見直そう!



医療機関では月末月初にレセプトを点検する作業が発生します。この点検作業に膨大な時間がかかるため、この時期が来ると憂鬱になるといふ声をよく聞きます。今回はレセプト点検の効率化を考えてみましょう。

4月に診療報酬改定が行われ、5月は改定後初めてのレセプト請求でした。長年診療所を営んでいる方にとっては恒例の行事ですが、改定後一回目の請求は改定の結果を踏まえたものにしていかなくてはなりませんので、何度経験していても作業は通常よりも時間がかかるものです。

診療報酬改定時の更新作業

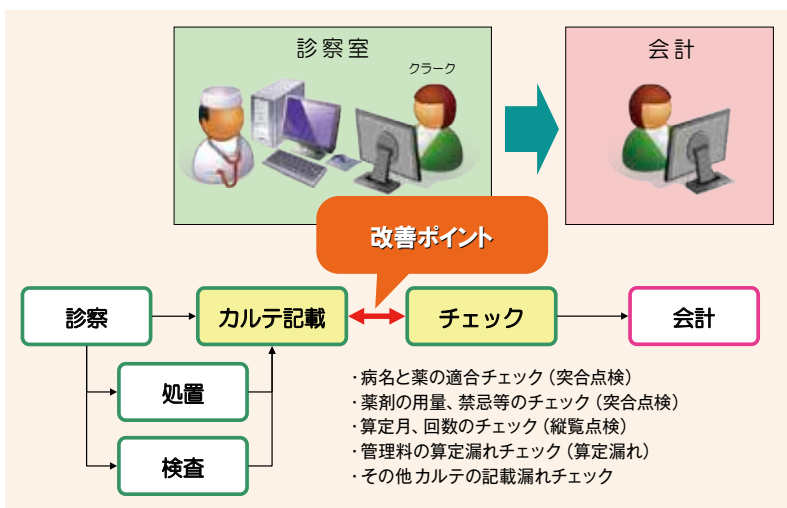
改定時には電子カルテやレセプトコンピュータを最新の内容に更新する必要があります。更新作業には、(1)CDやDVDが送付され自ら更新する(2)リモート回線を用

通じてメーカーが更新する(3)Webからデータをダウンロードして自ら更新する——などの方法があります。これらの作業を適切に実施すると、マスタは更新され、診療報酬改定の内容を踏まえた最新のものに変更されます。ただし、(1)の場合は複数枚CDが送付されるケースがあり、この順番を間違えると適切に更新が行われないため、注意が必要です。

レセプトは現在オンラインや電子媒体(CD等)での請求が一般的になり、請求自体は効率化が図られました。一方で、請求に伴う点検業務はいまだにレセプトを全件印刷して、一枚一枚カルテと内容を突合しているケースが多いようです。

レセプト点検の一般的な4つの項目

- ・病名と薬の適合チェック(突合点検)
- ・薬剤の用量、禁忌等のチェック(突合点検)
- ・算定月、回数のチェック(縦覧点検)
- ・管理料の算定漏れチェック(算定漏れ)
- ・その他カルテの記載漏れチェック



レセプト点検時に確認する項目としては、(1)病名と薬(検査・処置等)の適合チェック(2)薬の用量・日数・禁忌のチェック(3)算定月・算定回数のチェック(4)管理料の算定漏れチェック——などがあります。2012年からレセプト審査機関の点検強化として、

突合点検・縦覧点検が開始されて以来、この点検業務はさらに緻密さが増えています。

その対応として最近では、レセプトや電子カルテに搭載されているレセプトチェック機能や、別途用意したレセプト点検ソフトなどを活用して、レセプト点検を効率化する動きが診療所でも見られるようになりました。この機能やソフトを利用すれば、問題のあるレセプトを抽出する作業が大幅に効率化されます。

「月に1回まとめてレセプト点検をする」こと自体を見直す

電子カルテを導入し、レセプトソフトを活用しても「月に1回まとめてレセプト点検をする」という行為は残ります。このワークフロー自体を見直さない限り、「月末月初の点検作業が憂鬱だ」という状況をなくすることはできません。そのためには、ワークフローの見直しが必要となります。

電子カルテを導入するだけではフローは変わらない

電子カルテの導入はペーパーレス化に注目が集まっていますが、カルテ内容とレセプト請求を一致させることで請求事務を効率化することも、導入目的の一つです。カルテの内容がそのままレセプト請求に反映されれば、本来レセプト

点検は最終確認だけで済むのです。しかしながら、請求事務は受付スタッフが担当し、カルテの内容をレセプトの請求ロジックに合わせて補足するというレセプト時代の考え方が根強いいため、電子カルテに記載された内容とレセプトを完全に合わせる作業がまだまだ残り、それほど効率化が図れていないという現状があります。

クラーク運用で後戻り処理をなくす

そこで、レセプト請求事務に長けた事務員を医師の横にクラークとして配置し、医師のカルテ入力代行することで点検作業の効率化を図る医療機関が増えています。流れとしては、(1)医師の診察内容やオーダー内容を受けてカルテに記載する(2)オーダー内容を確認して適切な病名をつける(3)レセプト請求の観点から全体的に点検する(4)医師に承認を受ける(5)会計で再度内容を確認する——となります。

この流れであれば、リアルタイムでのレセプト点検が可能となり、レセプト請求時期には最終確認だけを行えば済むようになります。実際にこの運用を行っている診療所では大幅に月1回の点検作業が減少しているとのこと

メディカスト(株) メディプラザ
統括マネージャー 大西大輔



一橋大学大学院MBA(経営学修士)コース卒業。
日本経営グループの厚生政策情報センターにおいて、厚生行政情報並びに病院経営に資する情報収集、発信事業に従事後、電子カルテの常設総合展示場「MEDiPlaza」にて、企画、運営、スタッフ指導・管理、フランチャイズ指導・管理を行い、現在に至る。

クラーク運用を実現するための 電子カルテ + クラーク養成講座

受講生 募集中



MEDiPlaza

「わかった気になる」だけで終わらせません!

- ★ 電子カルテを多数展示しているショールーム「メディプラザ」が主催する講座なので、実際の電子カルテを操作できます。
- ★ 講義を受けてイメージするだけでなく、ロールプレイングを繰り返す行うことで、実務で使える操作を学べます。
- ★ 医療クラークの業務、電子カルテの操作だけでなくコミュニケーションの取り方もレクチャーします。

クリニックの業務システムとして定着させます!

- ★ 受講者個人の学びに終わらせず、クリニックの業務システムとして定着させる方法をお教えます。
- ★ クリニック全体が同じ目標に向かう方法をお教えます。
- ★ オプションサービスにお申込みいただくと講師が受講後クリニック様に訪問して現状をふまえた導入アドバイスをいたします。

東京講座

ベーシックカリキュラム
第1期(全8日間)

8月24日・31日

9月7日・28日

10月12日・19日・26日

11月9日

全8日間の日程で、
クラークの養成から
実際の運用まで
じっくり学べます!

お問合せ・お申込み

メディプラザ
クラーク養成講座事務局
<http://m-clerk.jp/>

東京講座
TEL: 03-5259-0010
MAIL: school@mediplaza.jp



★ 無料体験セミナーも毎月開催中! お申込みはWebサイトから ★ <http://m-clerk.jp/>

クラーク養成講座

検索